

環境配慮行動普及促進事業費補助金及び二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）推進事業）

審査委員の意見を踏まえた総評

（令和6年8月8日～令和6年9月5日公募）

【全体】

・「くらしの10年ロードマップ」（令和6年2月 デコ活応援団（新国民運動・官民連携協議会））に則して、国民（消費者・働き手）にとっての行動制約要因（ボトルネック）を課題として認識し、そのボトルネックを構造的に解消するための仕掛け（取組・対策）について、具体的な検討がなされ、明確に表現されている等、本補助金の制度の趣旨に合致している申請を高く評価した。

・事業実施により、業界の内外に対し、広くボトルネックの構造的な解消に向けた効果を与え得ると考えられる申請を高く評価した。

・なお、本補助金を活用したプロモーションについては、補助対象事業の認知度の向上を通じて、上述のような、業界内外に対して広くボトルネック解消の効果を与えることを目的とする必要があり、この観点で、用途が明確化され、自主事業の販売促進費との棲み分けが明確になされていることが必要である。

・本事業をきっかけに、更なる消費者のライフスタイル変容や脱炭素に貢献する行動変容の拡張、発展に繋がる取組を期待する。

上記の観点により審査を行った結果、ボトルネックの構造的な解消に資する具体的な仕掛け（対策・取組）が認められる事業として、食の分野において、事業の採択となった。

【食】

概ね、評価は以下のとおり。

・「くらしの10年ロードマップ」にも記載の、地産地消・食べきりやごみの削減・分別の意義やメリットを国民・消費者に分かりやすく伝える、国民・消費者がサステナブルな食生活や資源循環を実践できる機会を拡大するというボトルネック解消に向けた対策について、食に関するあらゆる接点を担うスタートアップ企業や中小企業が連携を強化しモデル作りを行う申請を評価した。本事業による消費者の家庭内の食品ロスの削減効果やその他の行動変容への波及効果のデータを的確に収集、定量的に分析し、個々の取組の評価及び改善を進めることを期待する。

以上